

14 加古川河口・下流域

ランク: A

生態系区分
河川

区分レベル
大

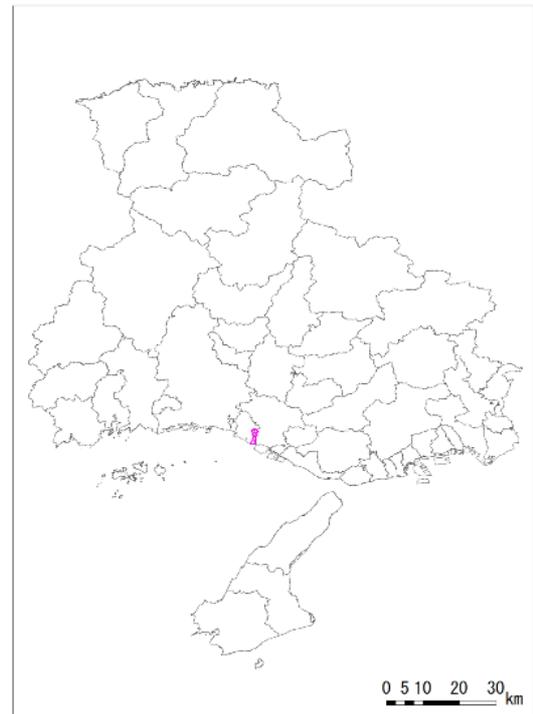
含まれる生態系(生態系区分)
河口干潟

市町名
加古川市・高砂市

場所
河口～古新堰堤

選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性



保全制度

-

概要

県下で有数の大規模な干潟とヨシ群落を中心とする安定した塩性湿地が広がる。アイアシの群落が発達しシオクグ、ハマヒルガオ、ゴキヅル、ナガミノオニシバなどの塩生植物の希少種が生育する。カワアイガイ、アリアケモドキ、ウモレベンケイガニなど県下の絶滅危惧種も生息。さらに近年、タケノコカワニナ、オカミミガイなど県下初の希少種も記録されている。年間約100種の野鳥が飛来、うちシギ・チドリ約30種、ツリスガラ、ホウロクシギなどの希少種も。干潟にはヨドシロヘリハンミョウが生息する。この種は本州では瀬戸内海沿岸に生息が限られている。多様な底生動物の生息地として日本の重要湿地500にも選定されている。



写真提供：山西良平